

# WITH YOU

保険情報ペーパー「ウィズ・ユー」

## 交通事故死者数 12年連続で減少

重大事故が相次ぎ発生  
死者の半数以上が高齢者

警察庁の資料によると、平成24年の全国の交通事故死者数は前年から201人減って4,411人となり、12年連続の減少となりました。過去最悪だった昭和45年（1万6,765人）のおよそ4分の1にまで減少しました。シートベルト着用義務化のほか、エアバッグやABSなど車の安全装備が普及したことが主な要因とされています。交通事故の発生件数は前年から2万7,030件減り66万4,907件、負傷者数も2万9,954人減の82万4,539人で、どちらも8年連続の減少です。

このように交通事故による犠牲者は減少傾向にあります。平成24年は社会的反響の大きい悲惨な事故が相次いで発生した年でもありました。

▼4月12日「観光客でにぎわう京都・祇園で、軽ワゴン車が暴走し、歩行者を次々にはねて運転者を含む8人が死亡、12人が重軽傷を負った」

▼4月23日「京都府亀岡市の府道で、18歳少年が運転する軽自動車（無免許・居眠り運転）が集団登校中の小学生とその保護者の列に突っ込み、3人が死亡、7人が重軽傷を負った」

▼4月29日「群馬県藤岡市内の関越自動車道で、ツアーバス（居眠り運転）が防音壁に衝突し、乗客7人が死亡、乗客乗員39人が重軽傷を負った」

一方、高齢者人口の増加にともなって、死者数全体に占める65歳以上の割合が高まっています。



平成24年は51.3%（2,264人）と半数以上が高齢者で、10年前が37.8%でしたから、急速にその割合が増していることがわかります。

現在、自動車メーカーは衝突を回避する機能など、事故そのものを減らすための技術開発を進めており、近い将来、交通事故のない社会が訪れるかもしれません。ただ、事故の大半はドライバーを含む人間の不注意やルール違反などが原因で起きています。結局は、私たち1人ひとりが日ごろから交通安全に取り組むことが何より大切だといえます。

2013年3月作成



フォーユーシステム株式会社

〒989-6135 宮城県大崎市古川稲葉字浦田32-1  
古川の通報は大場いい 通話いや

TEL 0229-24-0855 FAX 0229-24-0855

<http://www.foryousystem.co.jp>